

特定外来生物(植物)の 拡大・被害防止のために

特定外来生物とは……………

もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって、他の地域からもちこまれた生物(外来生物)のうち、地域の自然環境に大きな影響を与えたり、農作物に被害を与えたりするものを法律で「特定外来生物」として指定しています。

特定外来生物被害予防三原則

- 入れない** 悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに入れない!
- 捨てない** 飼っている外来生物を自然のなかに捨てない!
- 拡げない** 自然のなかにいる外来生物は他の地域に拡げない!

特定外来生物の被害を防ぐため、飼養・栽培・保管・運搬・譲渡は原則禁止されています。

アレチウリ



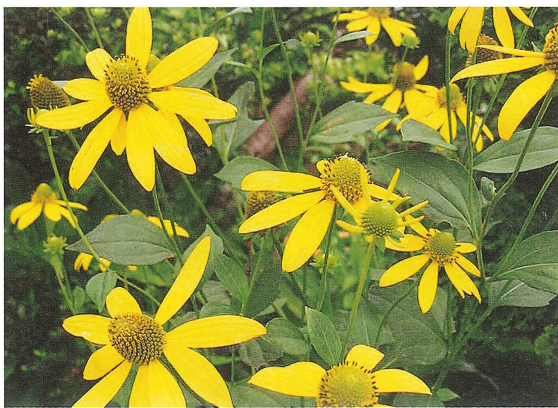
特徴:ウリ科の一年生草本。林縁、荒地、河岸、河川敷、路傍、原野、畑地、樹園地、造林地などに生育する。開花期は8~10月。生育速度が非常に速いつる性植物で、数m~数十m伸びます。果実に硬いトゲがある。
対処方法:種をつける前、できるだけ小さいうちに抜き取る。

オオキンケイギク



特徴:キク科の多年生草本で、高さは0.3~0.7m程度。路傍、河川敷、線路際、海岸などに生育する。黄橙色の花を咲かせ、開花期は5~7月頃。
対処方法:実をつける前に根ごと抜き取ることが効果的。梅雨時に刈り払いを行い、結実を防ぐことも必要。

オオハンゴンソウ



特徴:キク科の多年生草本で、高さは0.5~3m程度。路傍、荒地、畑地、湿原、河川敷などに生育する。黄色い花を咲かせ、開花期は7~10月。
対処方法:地下茎から再生するため、根ごと抜き取る。

オオカワヂシャ



特徴:ゴマノハグサ科の一年~多年生草本で、高さは0.3~1m。湖、沼、河川の岸辺、水田、湿地に生育する。花は鮮やかな青紫色で、開花期は4~9月頃。
対処方法:根から再生するため、残さずに抜き取る。

写真出典: 環境省HP「外来生物法」、長野県HP「外来生物について」、(財)自然環境研究センター

※市民のみなさまにおかれましては、特定外来生物(植物)の駆除のご協力をよろしくお願いいたします。

なお、7月の最後の日曜日(27日)はアレチウリ駆除全県統一行動日です。

※市では、現在市内の特定外来生物の生育・生息状況を調査中です。

■お問い合わせ

環境政策課 環境保全係 ☎ 62-2917 (直通)